



<展覧会 開催のお知らせ>

この度、UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）に於いて「江藤 玲奈・竹原 美也子 2 人展～それぞれの物語～」を開催いたします。

「UNPEL GALLERY」の運営母体である「あいおいニッセイ同和損保」は、日本画を志す若手画家の育成と日本の伝統を継承するというメセナ活動の一環として、本年 2 月から 5 月まで全国の大学・美術大学で日本画を学ぶ学生と卒業生のグループ展を開催しました。これに引き続き、全国の優秀な若手作家の中から選抜し、各作家の個展を企画、5 月から 7 月まで開催いたします。

ギャラリーでは今後とも、日本画を学んだ若手作家の活動支援を行ってまいります。

■タイトル / 江藤玲奈・竹原美也子 2 人展～それぞれの物語～

■会 期 / 2021 年 7 月 11 日（日）～8 月 1 日（日） 11:00 ～ 19:00（月曜定休）【入場無料】

* 新型コロナ感染拡大の状況により、開廊日や営業時間を変更する可能性があります

ご来廊の前には必ずギャラリーの HP/ <https://unpel.gallery> 及び Twitter/ https://twitter.com/unpel_gallery/ をご確認ください

■会 場 / UNPEL GALLERY

東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F

■作 家 名 / 江藤 玲奈（えとう れいな）・竹原 美也子（たけはら みやこ）

■企 画 / UNPEL GALLERY

■展覧会内容

『江藤玲奈・竹原美也子 2 人展～それぞれの物語～』と題した、展覧会を開催いたします。

本展覧会は富山大学芸術文化学部を卒業した江藤玲奈、竹原美也子による絵画作品展です。自然に恵まれた富山という地で生まれ育ち、その豊かな環境の中、同じ大学で日本画を学びました。卒業後はそれぞれ独自の世界を追求し、制作に励んでいます。

江藤玲奈は、「人と自然の関係性」をテーマに、神話や昔話からインスピレーションを受け、物語と絵画を行き来する様に作品を生み出す試みをしています。

竹原美也子は、自分の記憶の中にある人の気配に注目し、静物を描くことで、そこにいた人物の性格、思いを想像し表現しています。

2 人の作品には、現実世界の中で感じる事柄から、物語を想像し、絵画作品に落とし込んでいると言う共通点があります。それは、自然の中で考え、思いを巡らせる時間が多かった幼少期が共通しているからかもしれません。その様な共通点を持つ 2 人ですが、表現方法や絵画技法が大きく違う所が見どころの一つとなります。

先の見えない未曾有の事態の中で、自分の作品を見つめ直し、表現者としてこれからの世界にどう関わっていくか、模索が続く中生まれたそれぞれの世界を、2 メートルの大作から小品まで、さまざまなサイズの作品で発表いたします。

■作家プロフィール

江藤 玲奈 Eto Reina

1989 富山県生まれ

2011 富山大学芸術文化学部造形芸術コース卒業

2013 富山大学大学院芸術文化学研究科修士課程修了

2014 「アートフェア東京 2014」東京国際フォーラム（東京）

2016 「新進芸術家選抜展 FSUSS2016」JO 美術館(東京)

2017 「江藤玲奈展 回遊す光－命の輝き－」ガレリア青猫(東京)

2018 「コレクター推薦作家展シリーズ Vol.2 関一彦・推薦作家」東京九段耀画廊(東京)

2019 「REINA ETO & SARA WATANABE」コートヤード HIROO(東京)

2020 「江藤玲奈展－asterism－」帝国ホテルプラザ MEDEL GALLERY SHU(東京)

2020 「江藤玲奈展－Dot to Dot－」ギャラリー・フェイストゥフェイス(東京)

2020 「麟躍会」柳井画廊(東京)

2020 「C-DEPOT selection」パークホテル東京 34 階 Corridor Gallery(東京)

2020 「あゆのかぜいたしくあゆはしる－見えないものに触れるとき－」アートハウスおやべ(富山)

2020 「江藤玲奈展－hide-and-seek－」古民家 Cafe のらのら(長野)

2021 「江藤玲奈展－Connecting The Dots－」Hideharu Fukasaku Gallery Roppongi(東京)

神話や昔話に秘められた知恵をもとに、人と自然との関係性を探るための「物語のシリーズ」を制作しています。自分が生きる範囲の自然や動物との関係性を感じ取り、そこから物語を生み出し、自分の営み（絵）に落とし込む事で、自分と自然との関係性を探る事を目的として制作を試みています。



『Symbiosis 1』 h 455×w 455mm
木製パネル・和紙・岩絵の具・墨・胡粉



『Symbiosis 4』 h 455×w 455mm
木製パネル・和紙・岩絵の具・墨・胡粉

竹原 美也子 Takehara Miyako

1989 富山県生まれ

2013 富山大学芸術文化学部造形芸術コース卒業

2015 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻日本画コース修了

2014 「春の院展」入選（同、15、16、17、18、19、20、21）

2014 「臥龍桜日本画大賞展」大賞

2014 「院展」入選（同、15、16、18、19、20）

2016 「山種美術館アートアワード」入選

2016 「竹原美也子展 このときこの場所で」西田美術館(富山)

2017 「渺渺展」東京銀座画廊、ギャラリー和田、林田画廊(同、18、19){東京}

2018 「桜花賞展」入選

2018 「竹原美也子 日本画展」森田画廊(東京)

2018 「竹原美也子展 それぞれのほんとのところ」武蔵野美術大学 gFAL(東京)

2020 「竹原美也子 日本画展 ひみつの時間のはじまり」ギャラリー和田(東京)

2020 「竹原美也子 日本画展 じつは仲良し」林田画廊(東京)

2021 「竹原美也子 日本画展」あべのハルカス近鉄本店(大阪)

現 日本美術院院友、武蔵野美術大学非常勤講師

自分の記憶の中にある人の気配に注目し、制作しています。人は表情を作り、化粧をし、流行りの服を着て自分の見た目を取り繕う生き物だ。実際の人物を描くのではなく、場所やものを描くことで、隠し切ることのできない人物の本質の部分を表現したいと思っている。



『まっていた時間』 h1740×w2190 mm
岩絵具、水干絵具、銀箔、和紙



『みんなを起こすまでに』 h1000×w1000 mm
岩絵具、水干絵具、銀箔、和紙

<ご連絡・お問い合わせ先>

■ギャラリーオフィス 月曜定休（担当 / 中島・内城）

E-mail / tsubaki@un-pel.com <https://unpel.gallery/>

TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781

* お問い合わせは E-mail にてお願いします